

講義名称	社会調査法	担当教員名	稲見 直子
科目群	社会科学 (SOC)		
科目区分等	社会学	単 位	2
対象学年次	1年・春	ナンバリング	SOC172

授業のキーワード	社会調査、量的調査、質的調査
授業の概要	本授業では、社会調査の基本的事項となる目的や歴史や倫理などを講義するほか、具体的な事例を用いてデータの分析方法を解説します。
期待される学習成果 (目標)	1. 社会調査の基本的事項が習得できます。 2. データを読み解く力が身に付きます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	イントロダクション	社会調査の目的と意義、及びデータとは何かを考えます。
2	社会調査の歴史	社会調査が発展してきた歴史的経緯について説明します。
3	社会調査の設計と倫理	社会調査の設計方法と倫理について説明します。
4	社会調査の種類	社会調査の種類と使い分けについて解説します。
5	質問紙の作成	質問紙を作成する上での問題点について考えます。
6	標本調査	標本調査を実施する上での対象者の選び方について解説します。
7	質問紙の配布	質問紙の配布の仕方について説明します。
8	量的調査の分析	量的調査の分析について解説します。
9	世論調査とメディア	世論調査とメディアの問題について考えます。
10	公的統計とITの活用	公的統計とITの活用について解説します。
11	国際比較調査	国際比較調査の意義について説明します。
12	観察法	観察法の解説のほか、実際の調査研究を紹介します。
13	面接法	面接法の解説のほか、実際の調査研究を紹介します。
14	ドキュメント分析	ドキュメント分析の解説のほか、実際の調査研究を紹介します。
15	ふりかえり	授業を振り返り、要点を確認します。

定期試験	中間レポートと期末テストを実施します。
授業時間外学習	参考文献を用いて予習 (用語確認) と復習 (内容確認) を行うこと。
評価方法	中間レポート (40%)、期末テスト (60%)
使用する教科書 (必ず購入してください)	適宜、レジメと資料を配布します。
参考文献	篠原清夫・清水強志・榎本環・大屋根淳, 2010, 『社会調査の基礎——社会調査士A・B・C・D科目対応』弘文堂。